

歴史と今が交差する

歴史的建造物

札幌“れきけん”探訪

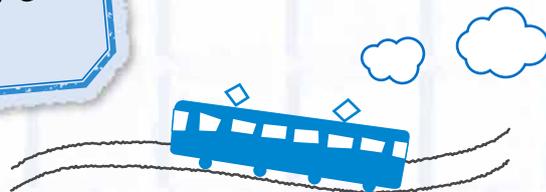
札幌には、時計台や赤レンガ庁舎などの象徴的な建物以外にも、長年にわたり地域に親しまれ、大切に守られてきた建物が数多くあります。この特集では、そうした歴史的建造物“れきけん”の数々を紹介。知っていそうで知らない建物を眺めて、札幌の魅力を再発見してみませんか。



この特集で紹介する建造物の問い合わせは、地域計画課 ☎211-2545

路面電車で
“れきけん”
巡り

路面電車に乗って、ぶらり散歩。
地域を歩きながら、沿線にある
レトロな建物を訪ねてみましょう。



1 旧藪商事会社ビル(三誠ビル)

現存する鉄筋コンクリート造りの事務所ビルとしては市内で最も古い建物。周辺の近代的なビルとは対照的に、クラシックな姿をとどめています。



大正13(1924)年建築



▲窓周りにある帯状の装飾など、細やかなデザインを見ることができます

見学 共有部分のみ、内覧可 所在地 中央区南1西13

2 北星学園創立百周年記念館

米国から訪れた女性宣教師の住居として、スイス人建築家マックス・ヒンデルが設計。かつての調度品や史料を展示する記念館として公開されています。

見学 内覧可〈4月～10月の月・水・金曜。
12時～17時。祝・休日を除く〉

所在地 中央区南4西17



大正15(1926)年建築



▲宣教師が住んでいたころを再現したダイニングルーム



▲漆喰の白色と木の褐色とのコントラストが美しい



昭和9(1934)年建築

3 日本福音ルーテル札幌教会

フィンランドの宣教師らによって建設された教会。正面の石造り風のデザインが、荘厳な雰囲気を出しています。

見学 教会行事がなければ内覧可

所在地 中央区南12西12



4 旧小熊邸(ろいず珈琲館)

北海道の近代建築を代表する建築家として名高い、田上義也が設計した邸宅。現在は喫茶店として、市民や観光客に親しまれています。

ドアや照明などの一部は、当時の物をそのまま使っています。昔と変わらない姿を懐かしんで来てくださる方もいるんですよ。落ち着いた雰囲気の中、古き良き時代を思いながらひと時を過ごしてほしいですね。



ろいず珈琲館 旧小熊邸
店員 佐藤 章伍さん



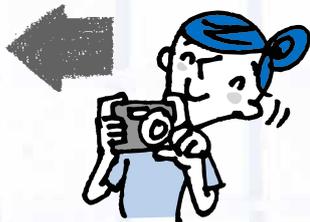
昭和2(1927)年建築

見学 店舗利用時のみ内覧可
所在地 中央区伏見5

幾何学的なデザインの窓にも注目▶



次は石造りの建物を見に行こう!



昭和12(1937)年建築

5 旧藻岩第一浄水場(水道記念館)

市民に初めて水道水を供給した浄水場で、昭和46年まで活躍。現在は水道記念館として、水道の仕組みが楽しく学べる施設になっています。

見学 内覧可
〈9時30分～16時30分。
月曜(祝・休日の場合は翌日)、冬期間を除く〉

所在地 中央区伏見4



札幌軟石で できた “れきけん”

北海道の開拓期に大きく貢献した札幌軟石。歴史の重みと味わいを感じさせてくれるこの素材に注目して、歴史的建造物を見てみましょう。



札幌軟石って何？

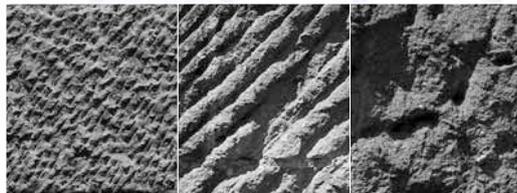
4万年ほど前、支笏湖を形成した噴火が起きた際の火砕流が固まったもの。加工しやすく断熱効果も高いことから、明治から昭和にかけて、多くの建物に使われました。

当時の採石場は、現在「石山緑地(南区石山78)」として市民の憩いの場になっています▶



近くで見よう！ さまざまな表情を見せる軟石

建物によって表面の模様はいろいろ。のみの跡を残す「のみ切り仕上げ」や、岩肌のごつごつした風合いを残す「こぶだし仕上げ」などがあります。



日本基督教団札幌教会礼拝堂

札幌軟石の壁面と青いとんがり屋根が特徴的な教会。円いステンドグラスやとがった形の窓など、随所に中世ヨーロッパの建築様式を見ることができます。

旧沼田家倉庫(豆蔵珈房宮田屋東苗穂店)

地域の農家が収穫したタマネギを預けたほど、当時この付近で最も大きな倉庫。現在は札幌軟石の風合いを生かした喫茶店として、新たな役割を担っています。



明治37(1904)年建築

見学
外観のみ
所在地
中央区北1東1



昭和37(1962)年建築

見学
店舗利用時のみ
内覧可
所在地
東区東苗穂5の2



旧石山郵便局(ぽすとかん)

地元の軟石で造られた、地域のシンボリックな建物。郵便局の役割を終えた現在は、会社の事務所や多目的スペースとして活用されています。



昭和15(1940)年建築

見学 内覧可(事前に株大典☎090-8374-6787に連絡が必要)
所在地 南区石山2の3



正面の軒下にあるテマークが、郵便局として活躍した面影を伝えています。今では、地域の会合など、まちづくり活動の場に。小学生が授業で見学に来てくれることもあるんですよ。時を超えて地域のつながりの拠点になっていることがうれしいですね。



旧石山郵便局の所有者
いわたのりかず
岩本 憲和さん

ほかにもあります! 地域に愛される“れきけん”



現存する唯一の定山溪鉄道駅舎

旧石切山駅(石山振興会館)

昭和44年まで運行した定山溪鉄道の旧駅舎。現在は地域の会合のほか、野菜などを販売する朝市の会場として活用されています。



大正7(1918)年建築



石山商店街振興組合
ふるうち かずえ
古内 一枝さん

かつて多くの人が訪れ、旅立ったこの駅舎は、今では地域のイベントや子どもたちの学びの場になっています。これからも、たくさんの人が集い、ふれあえる建物として受け継いでいきたいですね。

見学 内覧可(10時~17時。土・日曜、祝・休日を除く) **所在地** 南区石山1の3

広大な敷地に残るのどかな風景

八紘学園資料館

鮮やかな赤色のトタン屋根が美しい畜舎とサイロ。内部では、実際に使われていた耕運機などの農機具を見ることができます。



明治37(1904)年建築

見学 内覧可(事前に八紘学園☎851-8236に連絡が必要)
所在地 豊平区月寒東1の13

金文字の看板が当時のにぎわいを物語る

北海湯

全国的にも珍しかったれんが造りの銭湯。平成11年に銭湯としての役目を終え、今では、お酒や音楽が楽しめるバーとなっています。



明治末期~大正初期建築

見学 店舗利用時のみ内覧可
所在地 東区北7東3

歴史ある建物巡りにぴったり

便利なアプリを無料で配信中!

市内に48ある歴史的建造物を紹介する電子書籍「れきけん×ぼろたび」ができました。スマートフォンなどでご利用ください。



ここが便利! 施設の見どころや行き方が一目で分かる
テーマや場所に合わせた観光コースを紹介

入手方法 アンドロイド端末ではGoogle Play、
iOS(アップル)端末ではiBooksでダウンロード

ホームページでもご覧になれます

れきけん × ぼろたび



7/18(金) 夜の“れきけん”も楽しめる!
開催 **カルチャーナイト**

申込不要

市内103カ所の施設を夜間に開放。一部の歴史的建造物でも、施設の特色や雰囲気を生かした催しを行います。

詳細 同実行委員会☎261-8633

歴史的建造物で行われる注目のイベント!

水道記念館 **水の演奏会**

水をテーマにしたジャズなどの演奏が楽しめます。

時間 19時~19時30分、20時~20時30分

場所 中央区伏見4 **費用** 無料

“れきけん”から育まれる
まちへの愛着

長い間まちを見守り、市民に大切に使われてきた建物は、札幌らしい景観をつくるだけでなく、地域のつながりや愛着を育む場にもなっています。この夏“れきけん”を訪ね、先人が築き守ってきた札幌の歴史に思いを馳せてみませんか。